

議 会 研 修 視 察 実 施 報 告 書

視察研修の目的

1、産業福祉の先進地を視察し、議員知識の習得や見識を広め、村の住民福祉の向上と産業振興に役立てる。

2、国の再生可能エネルギーの買い取り制度の施行に伴い、村が平成24年度から実施する小水力発電の債務負担的に位置付けされた平川小水力発電事業に先駆け、先進地である山梨

県都留市を視察し、維持管理や技術や費用面等について研修。

3、農業の6次産業化（生産・加工・販売）を手掛ける（有）国立ファーム（くにたち）が経営する「農家の台所」の視察。

4、赤字を出し続けた「いすみ鉄道」を、たった1年で黒字路線にした公募社長の仕掛け、考え方を研修。

視察研修実施者

議会議員 11名

視察研修場所

- ・ 家中川小水力市民発電所 「元気くん1号」他 山梨県都留市
- ・ （有）国立ファーム 「農家の台所」 東京都中央区
- ・ いすみ鉄道（株） 千葉県夷隅郡大多喜町

視察研修日程

平成24年7月5日（木）  
～6日（金）

視察研修経費

- 収入
- ・ 旅費（公費） 21万6700円
- ・ 自己負担 6万6614円



小水力発電施設「元気くん1号」 山梨県都留市 7月5日



小水力発電施設「元気くん2号」 山梨県都留市 7月5日